

KSKP BUG^{バグ} No. 70

発行人/関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F
編集人/〒601-8036 京都市南区東九条松田町62
NPO法人日本自立生活センターワークス共同作業所
TEL (075) 682-3201
FAX (075) 682-3330
http://kyoto-j-works.com/
Eメール saba@mediawars.ne.jp
編集責任者 大崎雅彦

冬はつとめて。雪の降りたるは
言ふべきにもあらず……



書/小松満雄

あなたは今年の「さち」はいかがでしたか。

目次

特集

「アートフェスタ2014報告」……………2

連載

広がれワークスの輪「黄檗山聖林院」……………4

カレンダー紹介・イベント報告……………5

ルーペ八木の手相雑記考……………6

連載・ワークスリレー・エッセイ・自立生活と私……………6
「自由と責任」香田晴子

NAKAJIMA'S EYES「藤井さんとの出会い」……………7

あしあと&あとがき……………8

冬期休暇のお知らせ……………8

J C I L
&
WORKS

アートフェスタ2014 を終えて

Artfesta2014を終えて

未来へ繋ぐ

2014年8月23日(土曜日)～8月25日(月曜日)までの3日間、ネットワークサロンのホールをお借りして「車イスと仲間の会40周年、日本自立生活センター30周年、ワークス共同作業所もうすぐ20周年、自立支援事業所10周年」の記念プロジェクトのイベント「Artfesta2014」を開催させていただきました。

日本自立生活センターワークス共同作業所が中心となって開催されたこの取り組みは今日まで諸先輩の方々が切り拓いてこられた自立生活運動の流れを次代の障害を持つ当事者に引きつぎ、新たな未来へ繋げていきたい、という思いを込めてタイトル・テーマを「未来へ繋ぐ」としました。

招待作品も含めて40作品以上の作品を出展していただきました。当事者の作品のみならず、関係機関の健常者の方々の力作もありました。作品の出展者を障害当事者のみとせずに関係者も含めたのには、互いの理解を深めながら既成概念の変革にチャレンジしたい、との強い思いがありました。

開催期間中は、120名以上の方々にご来場をいただきました。ご近所の方々やネットワークサロンのスタッフのみなさまにもご来場していただきました。心から感謝いたします。ありがとうございました。



作品の個性がいきる落ち着いた空間が広がります・・・



初日のテープカットの様子



受付では、来場者に
記載いただきました。



放長橋さんの書が花を添えて・・・

アートフェスタの感想

えき田大輔

私は、これまでいろんなイラストの作品を描いてきました。最も力強く描いたのは、今回の展示に出させていただいた「平 将門」です。将門は平安時代中期の武将で、武将の中で最も正義感が強く、常に正義のために戦ってこられました。だから私は、将門らしい男らしさを出そうと思い、力強く描きました。

アートでつなぐ 過去から現在、未来へ

『アートフェスタのことで』 松田光博

今年の8月23日～25日までJCIL&WORSKが主催したアートフェスタがありました。

今年は車いすと仲間の会40周年で記念です。まず最初にワークス共同作業所の所長大崎雅彦氏のあいさつで開催しました。そのあとに日本自立事業所理事長の矢吹文敏氏のあいさつ、そしてテープカットをしました。テープカットをしたのは岩本永子さんと矢吹文敏さんと松田光博でやりました。緊張しました。それからお客様がいっぱい来てくれました。



『芸術祭の受付を担当して』 伊藤壽一

8月に行われたワークス共同作業所の芸術祭、第1回アートフェスタで3日目の受付を任せられた。当日、受付の合間を見計らって、展示されている作品を鑑賞したのだが、芸術音痴の僕には、作品の芸術性は、正直言ってほとんど判らなかつた。しかし、中には大変細かく丁寧に制作された物や、よく工夫して趣向を凝らした作品があった。僕には発想はもとより、真似さえも到底出来そうにない作品ばかりであった。

京都新聞の紙上でも掲載されているので、見学者がどっと押し寄せて来るかと期待したが、来訪者は事前予想を少し下回ったようだ。

当日来訪者にアンケートを書いてもらったが、とても詳しく丁寧に感想や提案を書かれているのも見かけられた。

今回は初回でもあり、全く手探り状態で開催されたが、来年以降、第2回、第3回と発展性のあるものになることを期待している。



「広がれワークスの輪」取材しちゃいました

思わず、いきなり

第7回

「みみづく地蔵さんのお寺 黄檗山塔頭 聖林院さんの巻」

今回は、毎週火曜日の午後、そして8日のほていまつり、24日のみみづく老人法曹でお世話になっている聖林院の古村和尚さんにお話を聞きました。

● 以下敬省略



いつもやさしい古村和尚さんと所員。

～いつもお世話になってます。

まずは聖林院についてお聞かせください。～

和尚： 聖林院は塔頭寺院といいまして、交代制で5年ごとに住職が変わるのですが、現在は継続して、私が勤めています。こちらに来て、地域との関わりを大切にしようと、みみづく地蔵（耳に付く、可愛らしいというキャラクター）を考えまして、子供からお年寄りまで皆にお参り頂けるよう建立致しました。また種銭をお持ち頂いて願かけしてもらうことで、みみづくさんが知られるようになりました。東日本大震災が起きて、種銭をお返しなされた菩提金（ぼだいきん）を貯めていたので5万円ほど寄付させて頂きました。塔頭寺院の活性化=本山を含む=のためにも地域交流を大切にしながらワークスさんと繋がっているんですね。それで3年ほど前から毎週火曜に来て頂いています。寺院の開放はもちろん今後も続けていきたいです。

～和尚様のご自坊（自分のお寺）は何処ですか～

和尚：はい、大阪の和泉市の中央寺です。

～黄檗山のバリアフリーについてお聞かせください～

和尚：一応、本山はスロープ等一部施してありますが、なかなか難しい状況です。他の寺院でもバリアフリー化に取り組む中、まずは安心してご参拝頂ける表示やしっかりしたトイレが必要だと思います。お寺は山に接しているところが多く、進む高齢化で、ますます足が意のくのが懸念されます。寺院によってはエスカレーターを設置しているところもありますから、

自然との調和がポイント。またお参りに来たいと思ってもらえるような、バリアフリーが求められていると思います。

～具体的にイメージされることはありますか～

和尚： 本山なら車椅子の方に対応出来る、特別拝観コースを3コースくらい作るべき。ポイントは親切というバリアフリーです。（おもてなしの精神）片側通行ではなく、両側通行のシステムを作る。またバリアフリーの疑問として思う事は、身体が健康な人が作っているイメージの問題です。ワークスさんのような所で意見を聞いて作るべきだと思います。皆さんから智慧を頂けたなら、きっとバリアフリーは出来のではないのでしょうか。例えば、トイレは隠すのではなく一番使いやすい場所に作るべき等・・・。

～人的対応等その他はいかががでしょうか。～

和尚： 例えばバリアフリー係を設置して黄檗駅から安心して来て頂ける形を作るべき（これは拝観料に含まれている）でしょうね。閉ざされているものを開放する。バリアフリーは入り口でありそれだけが終わりではありません。イベントを避けて常に活性化されている事が大事。沢山の方がお参りして頂けるよう、ワークスさんにもがんばって頂いて、本山も聖林院も皆さんと一緒に活動していきたいです。

～どうぞ、これからもよろしくお願い致します～

和尚： こちらこそ、よろしくお願ひします。がんばってくださいね。

平成27年(2015年)

ワークス共同作業所 オリジナルカレンダー

販売中

オリジナルカレンダー作りました

ワークス共同作業所は、設立した18年前の当初からパソコンについての作業に取り組んできました。その中で、パソコンを使って絵を描く作業にも、一年を通じて取り組んでいます。

その独創的なイラストは、例年、当所のオリジナルカレンダーとして売り出しています。

また、日付や全体の構成なども、当所の仲間が、スタッフのデザイナーからアドバイスをもらいながらデザインしています。

最近では、以前より様々なカレンダーを購入できますが、当所の仲間たちのカレンダーは、みんなの力を結集したものです。



またこの記事を読んで、カレンダーに関心を持たれた方は、当所までお問い合わせ下さい。

イベント報告 2014.8~

work's ワークス

ふくしま祭り大成功

前日から、ふくしま祭りの準備に行ってきました。ふくしま祭りがはじまってお客さんがたくさん来てくれました。

本番はいい天気になりました。ふくしま祭りが終わるまで心配でした。本番も成功しました。えだ豆は売ってよかったです。

大成功でした。無事に終わりました。良かったです。来年のふくしま祭りも成功できたいと思います。



東九条マダンに参加しました

毎年11月3日で統一して、3日に行われていたのに、今年は、11月2日に行われました。朝から曇りで雨もパラパラと降っていました。それに今年からは、ジュラルミンのテーブルが借りられずに、各自でテーブルも用意して持って行くことになりました。

売れ行きの方は、綿菓子が100本以上売れましたが、東九条マダンの出店の中でワークスを入れて3軒も綿菓子を出店していましたので、3年前の東九条マダンみたいに、あまり行列が出来なくなりました。3年前は、朝の10時くらいから長い行列が出来て止めても止めても、行列は続きました。今年は、昼頃から本降りの雨になって、学校のグラウンドが水が溜まり、水を掃けるようになってもらい、ピタピタになっても夕方の4時30分頃までやっていました。



ワークスリレー・エッセイ 「自立生活と私」

今回は、香田晴子氏に原稿をお願いしました。初めての女性によるエッセイです。

香田 晴子

自由と責任

プロフィール

J C I L 事務局長。東北震災時の障害者支援の視察や海外の福祉視察など、積極的に J C I L の渉外活動にも取り組む。趣味は旅行。

私が自立生活を始めたのは今から20年前のことです。6畳一間のワンルームマンションでした。狭かったけど一国一城の主になったんやなあーと住民票を見て実感したことを覚えています。次に車いす住宅に引っ越すことが夢でした。運よく申し込み2回目です。今までの4倍くらいの広さのところへ引っ越しました。

自立生活を振り返って思うことは自由と責任が常に背中合わせにあること。どういうことかという、美味しい物や買いたい物は自由にできるが、お金がなくなって、次のお金が入って来るまで我慢しなければならないというようなことが、何回かありました。

今も自由に美味しい物を食べたり、旅行に行ったり、自立生活を満喫しています。

次の夢は？



ルーベ八木の手相雑記考 ~手のひらの丘について~



指や丘には星の名前が付いています。西洋占星術との深いつながりを示しています。

手のひらにはいくつかの丘があります。丘には様々な意味があります。それぞれの丘がふくらんでいる（発達している）場合にはそれぞれの意味が強くなります。

- 金星丘が発達している人は、優しく愛情深い人です。
- 木星丘が発達している人は、向上心があり出世欲が有ります。
- 土星丘が発達している人は、努力家で忍耐強い人が多いです。
- 太陽丘が発達している人は人気運があり、美的感覚にも優れています。
- 水星丘が発達している人は、コミュニケーション能力があり、数字や計算に強い人が多いです。



次回をお楽しみに・・・。

※それぞれの指の下が丘になります

NAKAJIMA'S EYES

中嶋 秀人

「藤井さんとの出会い —— 初めての障害者手帳の交付」

障害者手帳を貰うときに、世話になったのが藤井さんだった。

中学を卒業して、すぐに母親に連れて行かれたのが、京都府身体障害者連合会の藤井さんの家だった。そこで藤井さんに、病院を紹介され、診察を受ける。生まれて始めて障害者手帳の交付を受けた。

その時(手帳の交付)から、私は障害者だったのだ、ということ再認識させられた。この手帳を貰ったことで、それからの人生が変わったような気がする。

障害基礎年金が貰えるようになり、障害者共済年金が貰えるようになったことだ。この年金のおかげで、日々の生活が助かっている。

この頃から、家を離れて、障害者職業訓練校などの施設での寮生活が始まった。色んな職業訓練を受けた。京都の福祉センターに始まり、大阪府堺市や愛知県の職訓校、それに岡山県の吉備高原の職業リハビリセンターで電算機写植やコンピュータ写植等を習った。

10年以上続いた職業は「新聞配達」と「写真植字機(手動から始まり、最後はコンピュータ写植)」で終わった。結局、本雇いにはしてくれなかった。アルバイトばかりだった。厚生保険もかけて貰えなかった。

藤井さんと再会したのは、WORKSに来出(きだ)した頃だ。初めて行った八幡市の支援センターだった。そこに中学卒業の頃に見た、藤井さんの顔があった。「藤井さん」と声を掛けると「よおー、中嶋君か。初めてうちに来たときは、まだこんなボンやった。」と13,4歳のときのことを懐かしそうに、周囲の人に話していたのを思い出す。

「中嶋君、家まで送って行ってやろう」と云ってくれて、自宅の前までよく送ってくれた。

声の大きな人であり、あんなに元気な人だったのになあ…。

只一つ、困ったことがあった。WORKSの15周年記念の冊子を作るとき、藤井さんの自宅へ何か文章を書いてください。とお願ひに行くと、「こちらに任すから」と云われたことだ。こちらにとっては、何を書けばよいのか解らなかつた。今になって思えば、藤井さんの言葉が聞きたかつた、と思う。

嵯峨野地区の回覧板には、しばしば藤井さんの名前が回ってきた。その藤井さんも亡くなってしまった。嵯峨野地区の回覧板から、藤井さんの名前が消えたのは、なんとなく寂しい気がします。

長い間、お世話になりました。有難うございました。

手づくり市であいましょう。 —— ワークスは、皆さんのまちにいきます。

毎月8日・・・ほていまつり(宇治・黄檗山萬福寺) ※2月と9月はお休みです。

毎週火曜日(午後1時～)/8日/24日・・・宇治・黄檗山聖林院 12月26日～1月5日まで休林院

毎月第三日曜(今月お休み)・・・京都・藤森神社(※開館日変更有り)



オリジナル商品
人愛上界中!

あしあと

2013年8月～11月

姫のつれづれ日記 花より団子

demi

- 8月1日(金) すきま☆夏祭☆ナイト、参加
(ゲームコーナー&プライドポテト&手相)
- 8月3日(日) 京都市障害者スポーツセンター夏祭に出店、
綿菓子、ジャガイモ、ピーズを販売
- 8月8日(金) 田中先生健康講座
- 8月19日(火) 知
- 8月23日(土) アートフェスタ1日目・東九条夏祭り
- 9月6日(月) ほていまつり
- 9月14日(日) 藤森神社手作り市・てんとう虫マラソン
- 9月17日(水) 知
- 9月19日(金) パナナ寄贈
- 9月20日(土) 車いすと仲間会40周年キャンプ39回記念式典、
ワークスは写真をスライドショーにして上映
- 10月8日(水) ほていまつり
- 10月12日(日) ふくしまつり
綿菓子、枝豆、カレンダー、野菜を販売
- 10月14日(火) 代休
- 10月15日(水) 府身連PC講習会、宮津市初級編(知遊館)
- 10月16日(木) 府身連PC講習会、向日市初級編(社会福祉会館)
- 10月25日(土) 藤森神社手作り市
- 10月26日(日) 向島秋の祭典
- 10月31日(金) 健康講座「食生活と健康」
- 11月1日(土)
～3日(祝) 京野菜フェスティバルに参加
- 11月2日(日) 東九条マダン
- 11月8日(土) ほていまつり
- 11月9日(日) 希望の家大バザー
- 11月12日(水) 府身連PC講習会、宮津市フォローアップ編(知遊館)
- 11月13日(木) 府身連PC講習会、向日市フォローアップ編
(社会福祉会館)
- 11月16日(日) 藤森神社手作り市



年末年始のお休み
2014年12月27日(土)～2015年1月5日(月)

文句垂れ増



編集後記

今回は、他の作業所のことも抱えているので、思うようにはなかなか進めなくて、みんなに迷惑をかけたこともありました。自分ではまとまりがなく、本当に申し訳ない気持ちです。
えきだ

今年は車いすと仲間会が出来て40年です。この夏にアートフェスタが開催しました。いっぱい作品をだしてくれてありがとうございました。又、来年もやりますので来て下さい。
M

編集と言ってもインタビューに行く事くらいしか力になれず毎回申し訳ない気持ちで一杯です。今回は編集の方も少しだけでは有りますがさせて頂き、一応する事が出来ました。次回からはより力になれるようになりたいと思っている今日この頃です。

今年の紅葉は、ことのほか綺麗で、ワークスへ往復する最中、ただぼんやりと色づく木々に見とれています。BUG70号ということですが、今後ますますこの機関誌が多くの人の手を借りて大きく飛躍できたらいいなと思っています。
Demi.N